

欧州自動車産業ニュース

No. 955

2024年11月8日号

ミシュラン、仏2工場を閉鎖 26年初めまでに、従業員1254人に影響

独自工会、自動車業界の雇用変化に関する調査結果発表

中国SVOLT、欧州事業を終了

独シェフラー、欧州事業を再編・4700人削減

© European Community

* PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

■注意■

- 1.本誌の使用は、お申込み登録いただいた住所の事業所内及びE-Mailアドレスに限り、他への配布・回覧・転送を固く禁じます。
- 2.本誌のご利用によって生じたトラブル・損失・損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M. (Germany)
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, <http://www.fbc.de>

Rechtsform: GmbH Sitz: Frankfurt am Main HRB 44664 Geschäftsführer: Susumu Fujita

総合

中国が自動車メーカーに大型投資停止指示、EV追加関税賛同国対象に.....	4
独自工会、自動車業界の雇用変化に関する調査レポート発表.....	4
ドイツ乗用車新車登録、10月は6.0%増加.....	5
ドイツ国内生産、10月は17%増加.....	8
英新車登録、10月は6.0%減少.....	9

企業情報

自動車メーカー

ダイムラー・トラックとボルボが新合弁、SDV向けプラットフォームを共同開発.....	10
英JLR、PHVモデルの販売が好調.....	10
仏プジョー、英ロイヤルメールにEVバン2100台を供給.....	11
西セアト、1-9月は減収減益.....	11

部品メーカー

ミシュラン、仏2工場を閉鎖.....	12
中国SVOLT、欧州事業を終了.....	12
独シェフラー、欧州事業を再編・4700人削減.....	13

クローズアップ

チビカ (Chbika)	14
--------------------	----

欧州自動車短信

ダイムラー・トラック、ソラリス	15
-----------------------	----

一般・その他

独印政府、グリーン水素ロードマップの締結について合意.....	16
仏HRS、ポルトガルで水素ステーションを初受注.....	16
域内で販売の化粧品、6%に有害化学物質＝EU当局.....	17
中国系ECサイト「テム」を正式調査、違法商品対策など巡り.....	17

テクノロジー・トレンド

蘭ヒアのナビシステム、ルノー・ダチアの2モデルに採用.....	18
エレクトロビットの「EB corbos Hypervisor」、ASIL-B準拠の認証取得.....	18

目で見える欧州自動車産業ニュース

英国、新車登録台数:乗用車・セグメント別 2023年.....	19～21
---------------------------------	-------

企業名索引.....17

欧州経済を伝える



FBCでは、読者の皆様と一緒に誌面作りに取組みたいと考えております。
お気づきの点や率直なご意見・ご感想など、弊社カスタマーサポートまで
ぜひお気軽にお寄せください。

< FBCカスタマーサポート >

Tel : +49-(0)69-5480950 Email: info@fbc.de

FBC Business Consulting GmbH
August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M/Germany

<http://www.fbc.de>

総合

中国が自動車メーカーに大型投資停止指示、EV追加関税賛同国対象に

中国政府は欧州連合（EU）が中国製の電気自動車（EV）に対する追加関税適用を発動したことへの報復措置として、国内の自動車メーカーに対して、同措置発動に賛成したEU加盟国への大型投資を一時停止するよう指示したもようだ。ロイター通信が10月30日、中国の複数の消息筋の情報として伝えた。

ロイターによると、中国商務省は10月10日、上海汽車集団、比亞迪（BYD）、吉利汽車などを集めた非公開の会合で、追加関税の可否をめぐる採決で賛成に回った国への工場建設などへの投資を一時的に凍結するよう指示したという。

10月4日の加盟国の採決では、フランス、イタリア、ポーランド、オランダ、デンマーク、アイルランド、ブルガリア、バルト3国の10カ国が賛成したとされる。

<AI22345>

独自工会、自動車業界の雇用変化に関する調査レポート発表

独自動車工業会（VDA）は10月29日、独シンクタンクの prognosis に委託して実施したドイツの自動車業界の雇用の変化に関する調査の結果をまとめたレポート『自動車業界の雇用の見通し』を発表した。当該調査では、自動車業界の700の職種を対象に、就業者数の増減を調査し、今後の見通しを予想している。

これによると、ドイツの自動車業界の就業者数は2019～2023年の間に4万6,000人減少した。具体的には、同期間中に2万9,000人増加した一方、7万5,000人減少したため、差し引きすると業界就業者数は減少している。最も減少幅が大きかった職種は、金属加工（8,900人減、16%減）で、主に自動車部品業界に多い。これに対し、増加幅が最も大きかった職種は自動車技術（1万700人増、14%増）で、この職種は自動車メーカーに勤務する人が多い。

就業者数の減少は、代替駆動技術への転換が主因。駆動装置の電動化により、自動車製造に必要な人員はこれまでに比べ減少している。なお、技術的な研究開発、情報工学、電気工学、ソフトウェア開発では就業者数が増加している。

当該調査によると、業界就業者数は2035年までにさらに約14万人減少する見通しで、2035年には2019年比で差し引き18万6,000人減少する見通し。雇用の増加（新規雇用）がなければ約30万人減少すると予想している。

■ VDA会長、競争力の高い立地条件の確保が重要

VDAのヒルデガルト・ミュラー会長は今回の調査結果について、「エレクトロモビリティへの転換は雇用喪失につながる。就業者数の減少は何よりもまず、危機の表れではなく、むしろ転換の一部だ。しかし、重要なことは、この転換を支え、サポートする政策的な枠組み条件だ」とコメントし、政治的な枠組み条件により、将来の投資がドイツまたは国外で行われるかが決まるとの見解を示している。

同会長は、具体的な政策課題として、エネルギーコストの高さ、税率の高さ、過剰な官僚主義、当局の手続きの遅さ、遅々として進まない自由貿易協定などを挙げ、これらの課題に対応しなければ、多くの企業はより枠組み条件の良い地域への移転を余儀なくされる、と指摘した。

<AI22346>

ドイツ乗用車新車登録、10月は6.0%増加

ドイツ連邦陸運局（KBA）は5日、同国の2024年10月の乗用車新車登録が23万1,992台となり、前年同月に比べ6.0%増加したと発表した。3カ月連続で減少していたが、10月は増加に転じた。前年同月に比べ、営業日が1日多かったことが増加の一因。1～10月の累計は、前年同期比0.4%減の234万8,066台だった。これは、コロナ前の2019年同期の水準を依然として約22%下回っている。

10月の顧客別の登録台数は、法人が前年同月比10.8%増の15万4,923台（市場シェア：66.8%）と2ケタの増加率だった。個人は前年同月比2.5%減の7万6,860台（市場シェア：33.1%）だった。

ブランド別では、ドイツ勢は、最大手のフォルクスワーゲン（VW）（26.2%増）のほか、オペル（16.7%増）が2ケタの増加率だった。メルセデスベンツ（5.0%増）、BMW（4.9%増）、ポルシェ（3.9%増）も前年同月を上回っている。

国外ブランドでは、プジョー（130.1%増）、ボルボ（43.9%増）、シュコダ（28.9%増）、セアト（25.4%増）が大幅に伸びている。

日本勢は、レクサス（111.4%増）、トヨタ（48.6%増）、三菱自（13.5%増）、マツダ（10.3%増）、スズキ（4.1%増）が伸びた一方、日産（24.9%減）、ホンダ（12.3%減）、スバル（2.3%減）は前年同月を下回った。

■ BEV、10月は4.9%減少

10月の燃料別の登録台数は、純粋な電気自動車（BEV）が3万5,491台（市場シェア：15.3%）となり、前年同月に比べ4.9%減少した。ハイブリッド車は、前年同月比15.0%増の8万5,009台（市場シェア：36.6%）と、2ケタの増加率だった。そのうち、プラグインハイブリッド車は、前年同月比18.2%増の1万9,337台だった（市場シェア：8.3%）。

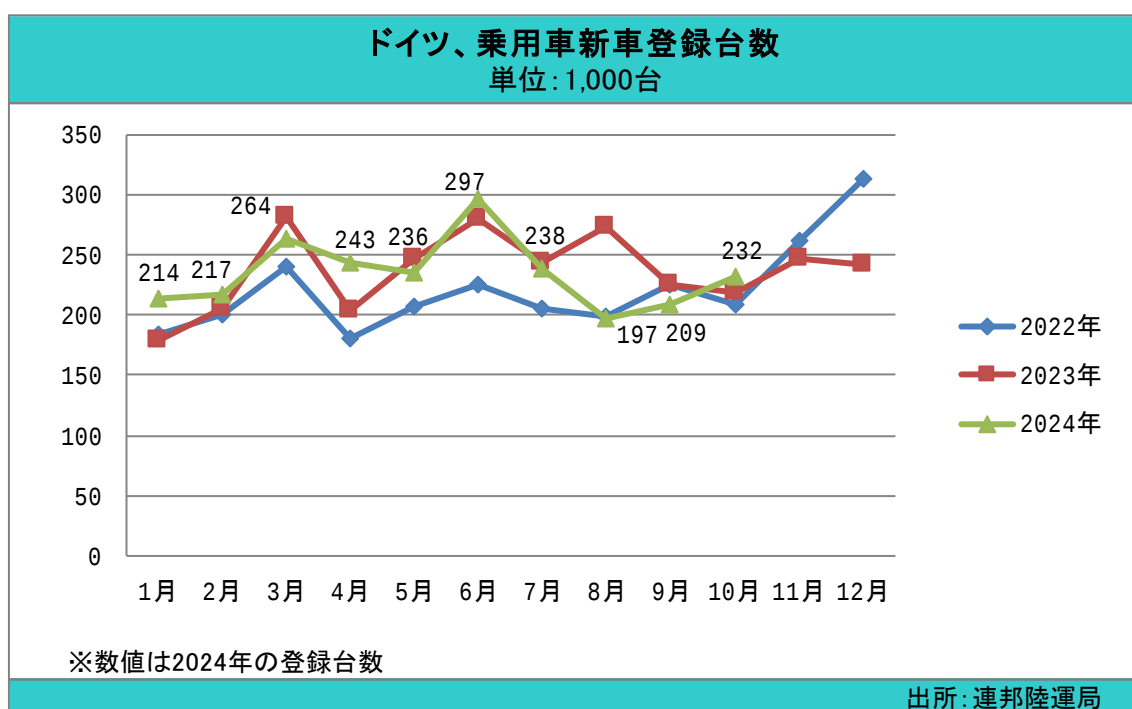
ガソリン車は、前年同月比3.7%増の7万4,264台（市場シェア：32.0%）、ディーゼル車は、前年同月比3.7%増の3万6,172台（市場シェア：15.6%）だった。

ドイツの乗用車新車登録統計 2024年：燃料別						
	10月	市場シェア	前年同月比 伸び率(%)	1～10月	市場シェア	前年同期比 伸び率(%)
ガソリン	74,264	32.0	3.7	845,263	36.0	2.8
ディーゼル	36,172	15.6	3.7	415,720	17.7	1.5
液化石油ガス(LPG)	1,039	0.4	-4.6	11,656	0.5	6.8
天然ガス(CNG)	-	-	-	137	0.0	-89.1
ハイブリッド	85,009	36.6	15.0	763,171	32.5	10.9
うち、プラグインハイブリッド	19,337	8.3	18.2	152,198	6.5	8.9
電気(BEV)	35,491	15.3	-4.9	311,881	13.3	-26.6
水素	-	-	-	-	-	-
出所：連邦陸運局						

(次頁に続く)

ドイツ、新車登録：2024年				
	10月		1～10月	
	台数	前年同月比 伸び率(%)	台数	前年同期比 伸び率(%)
オートバイ	14,186	10.6	201,227	-4.7
乗用車	231,992	6.0	2,348,066	-0.4
バス	344	-21.6	4,568	5.0
トラック	27,459	16.9	264,906	9.7
牽引車	8,784	27.6	75,432	-6.8
その他	1,391	2.1	16,942	-5.6
合計	284,156	7.6	2,911,141	-0.1
被牽引車	22,625	8.9	235,333	-1.9

出所：連邦陸運局



出所：連邦陸運局

ドイツの乗用車新車登録統計 2024年						
ブランド	10月			1～10月		
	登録台数	シェア(%)	前年同月比 伸び率(%)	登録台数	シェア(%)	前年同月比 伸び率(%)
愛他汽車 (Aiways)	-	-	-100.0	27	0.0	-43.8
アルファ・ロメオ	316	0.1	-45.9	5,166	0.2	-0.2
アルピーヌ	24	0.0	-31.4	379	0.0	14.2
アストンマーチン	9	0.0	-76.9	244	0.0	-39.5
アウディ	16,522	7.1	-19.8	168,610	7.2	-17.9
ベントレー	7	0.0	-87.0	527	0.0	-27.0
BMW	18,955	8.2	4.9	188,815	8.0	0.8
BYD	347	0.1	53.5	2,137	0.1	-30.8
キャデラック	8	0.0	-27.3	156	0.0	-43.7
シトロエン	3,986	1.7	7.0	45,418	1.9	33.6
ダチア	5,583	2.4	-1.1	58,439	2.5	2.2
DAFトラック	-	-	X	1	0.0	-50.0
DS	340	0.1	119.4	2,586	0.1	32.1
フェラーリ	127	0.1	23.3	1,674	0.1	11.0
フィアット	3,568	1.5	-48.6	52,488	2.2	-19.6
フィスカー	-	-	-100.0	132	0.0	26
フォード	7,845	3.4	-11.1	84,866	3.6	-15.5
長城汽車 (GWM)	215	0.1	-50.7	2,368	0.1	-38.2
ホンダ	627	0.3	-12.3	6,199	0.3	13.1
現代自動車	7,163	3.1	-16.2	80,219	3.4	-8.9
イネオス	38	0.0	-69.1	430	0.0	-41.4
イベコ	62	0.0	-22.5	877	0.0	15.7
ジャガー	124	0.1	-67.9	1,819	0.1	-34.9
ジープ	1,003	0.4	-28.4	9,810	0.4	-16.3
起亜	5,367	2.3	-18.7	58,508	2.5	-7.9
ラーダ	-	-	-100.0	32	0.0	-77.6
ランボルギーニ	58	0.0	-4.9	1,037	0.0	25.7
ランチア	-	-	X	1	0.0	X
ランド・ローバー	870	0.4	-27.9	10,166	0.4	-14.0
レクサス	592	0.3	111.4	4,263	0.2	51.5
ロータス	29	0.0	-21.6	286	0.0	5.5
ルシード	129	0.1	1512.5	256	0.0	241.3
リンク・アンド・コー (Lynk & Co)	16	0.0	-51.5	67	0.0	-97.0
MAN	58	0.0	-38.3	1,148	0.0	-34.4
マセラティ	41	0.0	-28.1	465	0.0	-50.9
マクサス (MAXUS)	5	0.0	-16.7	58	0.0	34.9
マツダ	3,813	1.6	10.3	37,401	1.6	-2.0
メルセデス・ベンツ	23,226	10.0	5.0	210,910	9.0	-9.5
MG Roewe	1,432	0.6	-32.2	18,166	0.8	7.0
MINI	2,696	1.2	-18.5	26,901	1.1	-28.8
三菱自動車	1,989	0.9	13.5	23,944	1.0	65.6
モーガン	-	-	-100.0	53	0.0	1.9
蔚来汽車 (NIO)	15	0.0	-94.8	338	0.0	-71.2
日産	2,193	0.9	-24.9	25,145	1.1	-5.8
オペル	13,240	5.7	16.7	126,183	5.4	5.5
プジョー	7,244	3.1	130.1	55,618	2.4	40.0
ポールスター	152	0.1	-44.1	2,645	0.1	-53.9
ボルシェ	2,862	1.2	3.9	30,859	1.3	7.6
ルノー	5,414	2.3	8.8	42,893	1.8	-20.2
ロールスロイス	48	0.0	92.0	296	0.0	5.7
セアト	11,767	5.1	25.4	129,119	5.5	18.5
シュコダ	17,986	7.8	28.9	172,795	7.4	24.9
スマート	854	0.4	-3.7	11,123	0.5	-22.3
双竜自動車 (Seangyong)	136	0.1	-13.9	1,552	0.1	-20.7
スバル	386	0.2	-2.3	3,724	0.2	-5.6
スズキ	1,792	0.8	4.1	21,293	0.9	1.3
タトラ (TATRA)	1	0.0	X	1	0.0	X
テスラ	1,614	0.7	-51.9	31,461	1.3	-42.5
トヨタ	9,139	3.9	48.6	76,397	3.3	18.3
ビンファスト	20	0.0	X	98	0.0	X
ボルボ	5,087	2.2	43.9	50,778	2.2	52.5
フォルクスワーゲン	43,942	18.9	26.2	448,821	19.1	5.2
小鹏汽車 (XPENG)	100	0.0	X	213	0.0	X
その他	810	0.3	-12.2	9,665	0.4	
合計	231,992	100.0	6.0	2,348,066	100.0	-0.4

出所:連邦陸運局

<AI22347>

ドイツ国内生産、10月は17%増加

独自動車工業会（VDA）は5日、2024年10月の国内乗用車生産が37万7,700台となり、前年同月に比べ17%増加したと発表した。前年同月に比べ、営業日が1日多かったことが増加の一因。1～10月の累計は、前年同期比1%増の347万4,300台だった。なお、これはコロナ前の2019年同期の水準を依然として12%下回っている。

輸出は、10月が前年同月比17%増の29万3,700台、1～10月の累計は、前年同期比4%増の269万6,500台だった。これは、コロナ前の2019年同期の水準を約9%下回っている。

10月の国内受注は、前年同月に比べ30%増加した。1～10月の累計では前年同期を10%上回っている。国外受注は、10月が前年同月に比べ7%増加、1～10月の累計は前年同期に比べ約2%増加した。1～10月の国内・国外を合わせた累計受注は、前年同期に比べ約3%増加している。

ドイツ、生産・輸出台数：乗用車				
	2024年10月	前年同月比 伸び率(%)	2024年1～10月	前年同期比 伸び率(%)
生産台数	377,700	17	3,474,300	1
輸出台数	293,700	17	2,696,500	4

出所：ドイツ自動車工業会（VDA）

<AI22348>

Information Broker Service

私たちは情報を迅速に探し出すスペシャリストです

FBCでは長年の調査業務ノウハウを活用して
広範囲な情報検索サービスを提供しています



プレスリリース

特定テーマに関する各界の評価
政府の統計データ・公式見解など



情報検索

官報・広報・特許・学術文献
調査レポート・書籍など



問合せや訪問予約の
アレンジメント

産業団体・関係当局・専門家
各所への問い合わせなど

検索料金は**250**ユーロ+VATから

お問い合わせはFBCカスタマーサポート +49-(0)69-5480950 info@fbc.de まで

英新車登録、10月は6.0%減少

英自動車工業会（SMMT）は5日、同国の2024年10月の乗用車新車登録が14万4,288台となり、前年同月に比べ6.0%減少したと発表した。減少は、今年に入り8月（1.3%減）に次いで2回目となる。1～10月の累計は、前年同期比3.3%増の165万8,382台だった。

10月の顧客別の登録台数は、大口法人（1.7%減）、小口法人（12.8%減）、個人（11.8%減）のいずれも前年同月を下回った。

燃料別では、ガソリン車（14.2%減）とディーゼル（20.5%減）が大幅な2ケタの減少率となった。プラグインハイブリッド車（PHEV）（3.2%減）、ハイブリッド車（HEV）（1.6%減）も前年同月を下回っている。電気自動車（BEV）は、前年同月比24.5%増となり、燃料別では唯一、前年同月を上回った。BEVでは、一連の新モデルの市場投入や、メーカーによる大幅な割引が販売を後押ししている。

英国、乗用車新車登録台数：顧客別 2024年					
10月					
カテゴリー	2023年	市場シェア	2024年	市場シェア	変動率
個人	62,207	40.5%	54,853	38.0%	-11.8%
大口法人	88,188	57.4%	86,701	60.1%	-1.7%
小口法人	3,134	2.0%	2,734	1.9%	-12.8%
新車登録総数	153,529		144,288		-6.0%
1～10月					
カテゴリー	2023年	市場シェア	2024年	市場シェア	変動率
個人	712,083	44.4%	643,469	38.8%	-9.6%
大口法人	855,637	53.3%	979,056	59.0%	14.4%
小口法人	37,717	2.3%	35,857	2.2%	-4.9%
新車登録総数	1,605,437		1,658,382		3.3%
出所：英自動車工業会（SMMT）					

英国、乗用車新車登録台数：燃料別 2024年					
10月					
カテゴリー	2023年	市場シェア	2024年	市場シェア	変動率
ディーゼル	11,276	7.3%	8,961	6.2%	-20.5%
ガソリン	84,702	55.2%	72,681	50.4%	-14.2%
電気自動車（BEV）	23,943	15.6%	29,802	20.7%	24.5%
プラグインハイブリッド車（PHEV）	14,285	9.3%	13,832	9.6%	-3.2%
ハイブリッド車（HEV）	19,323	12.6%	19,012	13.2%	-1.6%
新車登録総数	153,529		144,288		-6.0%
1～10月					
カテゴリー	2023年	市場シェア	2024年	市場シェア	変動率
ディーゼル	122,211	7.6%	106,610	6.4%	-12.8%
ガソリン	905,582	56.4%	888,925	53.6%	-1.8%
電気自動車（BEV）	262,487	16.3%	299,733	18.1%	14.2%
プラグインハイブリッド車（PHEV）	113,278	7.1%	138,775	8.4%	22.5%
ハイブリッド車（HEV）	201,879	12.6%	224,339	13.5%	11.1%
新車登録総数	1,605,437		1,658,382		3.3%
※ディーゼル、ガソリンにはマイルド・ハイブリッド車（MHEV）が含まれる					
出所：英自動車工業会（SMMT）					

<AI22349>

企業情報

■自動車メーカー■

ダイムラー・トラックとボルボが新合併、SDV向けプラットフォームを共同開発

商用車大手の独ダイムラー・トラックとスウェーデンのボルボ・グループは10月28日、大型商用車のソフトウェア定義型自動車（SDV）への転換を推進するため、SDV向けのプラットフォームと基本ソフトウェア（OS）を共同開発する折半出資の合併会社を設立する計画について、拘束力を持つ合併契約を締結したと発表した。両社は今年5月、当該計画について基本合意したと発表していた。合併設立の手続きは、当局の認可などを経て、2025年上半期に完了する予定。

合併会社の本社は、スウェーデンのヨーテボリに置く。両社は、合併会社を通して、標準化されたソフトウェアおよびハードウェアのプラットフォームを開発し、当該プラットフォームを基盤に各社が独自のデジタルサービスや車両機能を提供できるようにする。共同開発したプラットフォームは、他の自動車メーカーにも提供する方針。

具体的には、大量のデータを処理できる商用車用の高性能制御装置の仕様策定や調達、自動車メーカーが独自のデジタル車両機能を開発するための基盤として使用するOSとプログラミングツールの開発などが新会社の業務に含まれる。これにより、将来的に、ハードウェアとソフトウェアの開発サイクルが分離され、顧客はデジタルアプリケーションをワイヤレス（無線）で購入・更新できるようになり、効率やユーザー体験が向上する。

なお、ダイムラー・トラックとボルボ・グループは独自のデジタルソリューション（製品・サービス）を提供し、引き続き競合企業として事業を展開していく。両社はすでに、燃料電池システムを共同開発する合併会社を設立した経験があり、2021年3月に燃料電池システムの開発・生産・販売を事業とする合併会社セルセントリックを設立している。

<AI22350>

英JLR、PHVモデルの販売が好調

英高級車メーカーのジャガーランドローバー（JLR）は10月30日、プラグインハイブリッド（PHV）モデルの販売台数が2024/25年度上半期（4-9月期）に前年同期比で29%増加したと発表した。多くの顧客が完全電気自動車（BEV）への足掛かりとしてPHVを購入し、需要を押し上げていると説明する。

上半期にPHVモデルは「レンジローバー」ブランドで47%、「ディフェンダー」で23%増加した。PHVの販売増は前年度から続くもので、23/24年度は前年比で59%増加していた。

レンジローバーモデルはPHVとBEVの両方に対応するMLAプラットフォームを採用している。JLRは同プラットフォームを活用し、今後10年ほど内燃エンジン車、PHV、BEVの各モデルを混ぜたラインナップを展開していく。

レンジローバーとレンジローバー・スポーツのPHVモデルは電気駆動のみで最大70マイル（約112.7キロメートル）を走行できる。

<AI22351>

仏プジョー、英ロイヤルメールにEVバン2100台を供給

欧州自動車大手のステランティス傘下の仏プジョーは10月28日、英郵便事業者ロイヤルメールに電気自動車（EV）バンを2,100台供給すると発表した。内訳は「E-パートナー」が1,100台、「E-エクスパート」が1,000台。ロイヤルメールは最繁忙期のクリスマス時期に合わせ、1,000台以上のEVバンを配備する計画だ。

プジョーによると、同社は英国で最も売れているEVバンのブランドで、今年1-9月期の電動小型商用車（LCV）市場で19.5%のシェアを占めている。

「E-パートナー」はイングランド北西部エルズミアポートの電気自動車（EV）専用工場で生産されている。最高出力は136PS、最大トルクは270Nm。容量50キロワット時（kWh）のリチウムイオンバッテリーを搭載する。1回の充電で最大213マイル（約342キロメートル）を走行できる。

ロイヤルメールは2040年までに温室効果ガスの排出量で実質ゼロ（ネットゼロ）の達成を目指している。プジョーのEVバンの導入により、二酸化炭素（CO2）排出量を年約6,000トン削減できる見込みという。

<AI22352>

西セアト、1-9月は減収減益

独フォルクスワーゲン（VW）傘下のスペイン自動車大手セアトが10月31日発表した2024年1-9月期決算は営業利益が4億1,500万ユーロとなり、前年同期（5億100万ユーロ）比で17.2%減少した。世界的な自動車市場の低迷が響いた。売上高は3%減の105億ユーロ。電動化に向けた投資がかさみ、売上高利益率は0.7ポイント減の3.9%に低下した。

納車は前年比7.7%増の42万2,100台に拡大し、過去最高を記録した。内訳は高性能ブランド「クプラ」が5.3%増の17万9,100台、「セアト」は9.6%増の24万2,900台となっている。クプラの国別納車数はドイツが11.1%増の5万9,200台でトップだった。これに英国（2万2,900台、22.5%増）、スペイン（1万6,400台、3.1%増）が続いた。ドイツではセアトブランドの販売も5万1,400台に達した。

今後の見通しについては、中国から輸入する電気自動車（EV）に対する欧米の100%関税措置により、同国で生産される新型電動SUV「クプラ・タバスキャン（Tavascan）」が業績にマイナスの影響をおよぼすと予想する。

<AI22353>

必要な情報を収集します

30年間で培った「600件以上の調査実績」

各種調査はFBCにお任せください



■ 部品メーカー ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

ミシュラン、仏2工場を閉鎖

仏タイヤ大手のミシュランは5日、仏西部のショレとヴァンヌにある2工場を遅くとも2026年初めまでに閉鎖する方針を発表した。主にアジアからの低価格タイヤの市場シェア拡大による、乗用車および小型トラック、トラック用のタイヤ市場の構造的な変化や、インフレやエネルギー価格の上昇などに起因する欧州の競争力低下を背景に、両工場では生産が大幅に落ち込んでいた。今後の改善が見込めないことから、両工場の閉鎖を決定した。これにより、従業員1,254人が影響を受ける。

ミシュランが引用したコンサルティング大手ローランド・ベルガーの欧州タイヤ市場調査によると、エントリーレベルのタイヤの市場シェアはこの10年間で、乗用車・小型トラック用は9パーセントポイント、トラック用では11パーセントポイント拡大した。これに対し、プレミアムセグメントのタイヤの市場シェアはそれぞれ、11パーセントポイント、8パーセントポイント縮小した。このような構造転換を背景に、ミシュラン・グループの欧州のタイヤ工場の一部では生産能力の過剰が発生していた。

■ 従業員1,254人に影響

ショレ工場には、従業員995人が勤務している。同工場では、主に17インチ以下の小型トラック用タイヤを生産しており、半製品（主にゴム化合物）も生産している。同工場の生産規模は、2024年に262万5,000ユニットとなり、2019年の約437万5,000ユニットから大幅に落ち込んでいる。

ヴァンヌ工場には、従業員299人が勤務している。同工場では主に、トラックおよび乗用車用タイヤの製造に使用する金属補強材（ケーブル）などを生産している。特に、ミシュラン・グループの欧州のトラック用タイヤ工場の需要低迷により、同工場の生産規模は、2024年は3万4,000トンとなる見通し。2019年は4万1,000トンを生産していた。

ミシュラン・グループは2024年の連結決算において約3億3,000万ユーロの引当金を計上する予定。同社は、今回の措置により影響を受ける従業員を支援するための個別サポートを提供する方針を示している。また、11月11日まで両工場の生産を停止し、経営陣と労働組合の協議時間を確保する。

<AI22354>

中国SVOLT、欧州事業を終了

中国のリチウムイオン電池メーカー、蜂巢能源科技（SVOLT）は、2025年1月末に欧州事業の業務を終了する。独ザールランド州経済省がメディアの問い合わせに対し事実であると認めた。欧州事業に従事している従業員約50人はすべて解雇する予定。SVOLTは、ドイツ東部のザールラント州とブランデンブルク州に工場を建設する計画だった。

ザールラント州を巡っては、米半導体大手のウルフスピードが先ごろ、独自自動車部品大手のZFフリードリヒスハーフェン（以下、ZF）と協力し、ザールラント州にシリコンカーバイド（SiC）半導体の工場を建設する計画を無期限で凍結すると発表したばかり。同工場は、独西部ザールラント州のエンズドルフにある旧石炭火力発電所の跡地に建設する計画だった。

<AI22355>

独シェフラー、欧州事業を再編・4700人削減

独自動車部品大手のシェフラーは5日、欧州事業の構造再編を実施すると発表した。長期的な競争力を確保するための措置で、（1）ベアリング・産業ソリューション部門の利益改善（2）独同業ヴィテスコ・テクノロジー（以下、ヴィテスコ）との経営統合に伴う相乗効果の創出（3）自動車部品産業の転換に伴う事業見直し——の3つに重点を置いている。一連の措置により、欧州で従業員約4,700人を削減する計画で、うち、ドイツは約2,800人が対象となる。

人員削減の対象となるのは、ドイツの10拠点と欧州の5拠点で、うち、2拠点を閉鎖する予定。詳細については年内に情報を公開する予定。主に、2025～2027年にかけて実施する見通し。約4,700人を削減する計画だが、生産移管などにより、実質的な削減規模は最終的に約3,700人となると見込んでいる。これは、ヴィテスコとの合併後の従業員数（約3万5,000人増の約12万人）の約3.1%に相当する。

シェフラーは構造再編により、2029年から年約2億9,000万ユーロのコストを削減できると見込んでいる。うち、約7,500万ユーロは、ヴィステコとの統合による相乗効果によるもの。同社は構造再編に伴う一時的な費用として約5億8,000万ユーロを見込んでいる。

■ 需要低迷で生産能力の過剰が発生

重点を置く3つの措置により、欧州市場の需要低迷により発生した生産能力の過剰を調整するほか、ヴィステコとの経営統合を受け、各社の管理機能や研究・開発分野などで人員を削減する。

（1）ベアリング・産業ソリューション部門では、欧州のさまざまな分野における継続的な需要低迷を受け、生産能力の過剰が発生している。ドイツのシュヴァインフルト、ホンブルク、ハーメルンなどの拠点が生産の合理化や管理部門の人員削減の影響を受ける見通し。

（2）ヴィステコは2024年10月1日付で合併し、シェフラー・グループの傘下に入った。各社の本社があるドイツのレーゲンスブルクとヘルツォーゲンアウラッハの管理機能などで人員を削減する計画。レーゲンスブルクは将来、パワートレイン・シャーシ部門の中のパワートレイン・ソリューションの本部となり、ヘルツォーゲンアウラッハはEモビリティ部門とシェフラー・グループの本部なる。

（3）自動車部品業界では、内燃エンジン技術の需要減少、欧州における電動車の販売低迷を受け、コスト削減、事業見直しの必要が発生している。今回の再編措置では、パワートレイン・シャーシ部門およびEモビリティ部門が影響を受ける。特に、ヘルツォーゲンアウラッハ、シュヴァールバッハ、レーゲンスブルクの拠点が対象となる見通し。開発業務では特に、中国で現地化を進める計画。

<AI22356>

経済活動に大きく影響する
EUの政策動向をお伝えしています



欧州経済ウォッチャーを読んで
今のEUを知ろう

FBC



チビカ

Chbika

モロッコ南部のゲルミン・オウイド・ノウン地方の大西洋岸近くで計画する再生可能エネルギー・グリーン水素プロジェクト。欧州市場向けに年20万トンのグリーンアンモニアの生産を計画している。

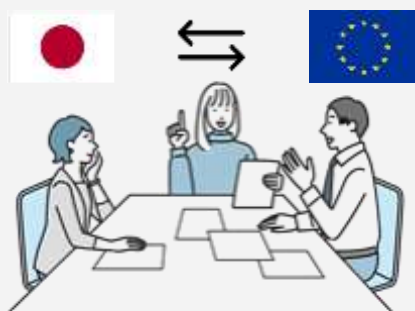
具体的には、1ギガワット（GW）の陸上太陽光および風力発電設備を構築し、海水を淡水化して電気分解により生成したグリーン水素をグリーンアンモニアに変換する計画。

■ TE H2、CIP、A.P.モラーキャピタルが協力

仏エネルギー大手のトタルエナジーズは10月29日、トタルエナジーズと再生可能エネルギー会社エレン・グループ（本社：ルクセンブルク）の合弁会社であるTE H2および同社のパートナーが、モロッコ王国政府とプロジェクト「チビカ」の土地確保に関する予備契約を締結したと発表した。これにより、TE H2はデンマークのファンド運用会社2社と共同で、事前FEED調査（Pre-FEED調査：プロジェクトの実現可能性に関する事前調査）を開始できるようになる。

TE H2は、デンマークのコペンハーゲン・インフラストラクチャー・パートナーズ（CIP）のエネルギー移行ファンド（Energy Transition Fund）およびA.P.モラーキャピタルの新興市場インフラファンドと共同で、事前FEED調査を実施する。

TE H2とCIPは、再生可能エネルギー分野（太陽光、風力、グリーン水素、および、その派生製品）の開発を担当し、A.P.モラーキャピタルは、港湾と関連インフラを開発する。



駐在員事務所代行サービス

欧州に事務所がなくても、
FBCが新規取引先の開拓や連絡、
貿易事務を代行します

欧州自動車短信

■ 独商用車大手の**ダイムラー・トラック** は5日、傘下の三菱ふそうトラック・バスがスウェーデンの物流会社 Victor Falkenlevから電動小型トラック「eキャンター 9C18e」を6台、受注したと発表した。Victor Falkenlevは、調達した車両を長年の提携先である独郵便・物流大手DHLの配送業務専用車として、スウェーデンの南海岸のスコーネ地域やマルメの市街地などに投入する予定。荷物の回収・配達のために走行する距離は平均約20kmで、約20～30カ所の停車箇所がある。「eキャンター 9C18e」は、全長7.2m、ホイールベース4,750mmの8.55トン・トラックで、物流パレット最大15個の容量を持つ。バッテリー2個で構成されるサイズ「M」の充電電池を搭載しており、1回のフル充電で最大140kmを走行することができる。



出所: Daimler Truck

■ ポーランドのバス製造大手**ソリス** は6日、ポーランド北西部にあるシュチェチン市から電気バス14台を受注したと発表した。内訳は、全長12メートルの「ウルビーノ12エレクトリック」が4台、連接バス「ウルビーノ18エレクトリック」が10台となっている。これらの電気バスは、シュチェチン市の公共交通会社が運行する。車載バッテリーは、パンタグラフまたはプラグ接続により充電することができる。同市はすでに、ソリスの電気バス16台を調達しており、今回の調達により保有台数は合計で30台となる。

<AI22357>

— 競業企業の動向を定期的にウォッチします —

キーワードに沿って情報を「**クリッピング**」し

日本語に抄訳してご提供します

料金は月々1,000～3,000ユーロから



一般・その他

独印政府、グリーン水素ロードマップの締結について合意

ドイツとインドの両国政府はこのほど開催された第7回独印政府協議の一環として、印・独グリーン水素ロードマップの締結について合意した。当該ロードマップは、グリーン水素の国際的な普及を促進するため、グリーン水素を長期的に経済的に利用可能にし、グリーン水素のグローバルな生成・貿易を支援することを目的としている。両国は2006年からエネルギー協力（IGEF：印・独エネルギーフォーラム）の枠組みを通して協力関係にある。

ドイツのハーベック連邦経済気候保護相は今回の合意について、「インドは再生可能エネルギーによる電力料金が安いと、世界的に競争力のあるグリーン水素の生成が可能な潜在性を持つ。インドは世界のハブとなり、グリーン水素の主要輸出国になることを目指している」と言及した。また、「ドイツのエネルギー企業はインドに重要な投資分野を見出している。同時に、ドイツは将来、経済のために大量のグリーン水素の輸入を必要としている」と説明した。

今回合意した両国のロードマップは、民間投資の促進に重点を置いている。また、グリーン水素の生成・流通・輸出・利用を促進する枠組み条件や、鉄鋼やセメント業界など脱炭素化が難しいセクターについての情報交換を強化する方針。このため、既存のエネルギー協力（IGEF：印・独エネルギーフォーラム）の一環として、グリーン水素をテーマとする常設の作業グループを設置する予定。

<AI22358>

仏HRS、ポルトガルで水素ステーションを初受注

水素充填ステーションの設計・建設を事業とする仏HRSは10月29日、ポルトガルで初受注を獲得したと発表した。グリーン水素の生成などを事業とするHYCHEM（旧ソルベイ・ポルトガル）に水素ステーション「HRS14」を供給する。HRSにとって、欧州大陸で6カ国目の事業進出となり、イベリア半島と欧州北西部を結ぶ水素回廊プロジェクト「H2Med」に参加している4カ国（ポルトガル、スペイン、フランス、ドイツ）のすべてで事業進出が実現した。

「HRS14」は、リスボン近郊のポボア・デ・サンタ・イリアにあるHYCHEMの産業拠点に設置される。当該水素ステーションは、公共および民間の乗用車や大型車両が利用することができる。

ポルトガル政府は現在、エネルギー転換政策において、水素分野に注力しており、グリーン水素の生成・流通への支援を強化している。この取り組みの一環として、70億ユーロを投資する計画で、当該計画には、2030年までに100カ所の水素ステーション網を整備する計画も含まれている。

<AI22359>

域内で販売の化粧品、6%に有害化学物質＝EU当局

欧州連合（EU）の欧州化学物質庁（ECHA）は10月30日、域内で販売されている化粧品の6%に、EUが利用を厳しく制限しているPFAS（ペルフルオロアルキル化合物およびポリフルオロアルキル化合物）が含まれているとする調査結果を公表した。

ECHAは域内化粧品業界が化学物質利用に関するルールを順守しているかを調べるため、EU13カ国で調査を実施。345社の4,686製品が対象となった。

自然界でほとんど分解されないPFASは「永遠に残る化学物質」とも呼ばれ、人体、環境に悪影響を及ぼす。発がん性も疑われている。

今回の調査では、日焼け止めクリーム、リップライナーなどからPFASが検出された。EUで利用が禁止されている成分も含まれていたという。

<AI22360>

中国系ECサイト「テム」を正式調査、違法商品対策など巡り

欧州委員会は10月31日、欧州連合（EU）の「デジタルサービス法（DSA）」で特に厳しい規制が適用される「巨大オンラインプラットフォーム（VLOP）」に指定した中国系電子商取引（EC）サイトの「テム（Temu）」に対して、違法商品対策などでDSAのルールを順守していない疑いがあるとして、正式調査を開始したと発表した。

テムはファッション製品、日用品をなど低価格で販売するサイト。欧州委は同社がEUの基準に沿わない消費者にとって有害な違法商品を締め出すため、十分な対策を講じているかについて疑問視している。また、アプリがゲーム感覚で買い物する依存性がある設計となっていることなども問題視し、調査を進める。

テムは当初、DSAでVLOPの対象となっていなかったが、5月に追加指定された。欧州委は今回の問題について、6月と10月初めに情報を提供するよう要請。寄せられた情報などに基づき検証した結果、正式調査に踏み切る必要があると判断した。

<AI22361>

■企業名索引

今週号のニュースで取り上げられた主な企業を対象としています。

Index

企業名	掲載頁		
Daimler Truck.....	10	Peugeot.....	11
Mitsubishi Fuso.....	15	Schaeffler.....	13
Elektrobit	18	Seat.....	11
Here.....	18	Solaris.....	15
Hydrogen Refueling Solutions (HRS)		Svolt	12
.....	16	TotalEnergies.....	14
Jaguar Land Rover.....	10	Volvo Group.....	10
Michelin.....	12		



テクノロジー・トレンド

技術大国ドイツを中心に
注目の技術情報を集めています。

蘭ヒアのナビシステム、ルノー・ダチアの2モデルに採用

蘭デジタル地図大手のヒア・テクノロジーは10月30日、仏自動車大手ルノーのルーマニア子会社ダチアにナビゲーションシステム「ヒア・ナビゲーション」を提供すると発表した。SUVの新型「ダスター」と完全電気自動車（BEV）「スプリング」に搭載する。

ヒア・ナビゲーションはコネクテッド車向けのクラウドベースのソリューション。「ダスター」と「スプリング」のドライバーは最新の地図情報をはじめ、オンラインとオフラインの検索機能、リアルタイムの交通情報などを利用できる。無線更新機能（SOTA）により常時アップデートされる。

ヒアで欧州・中東・アフリカ（EMEA）市場を統括するジーノ・フェル氏は「ルノーグループによる今回の採用を誇りに思う。将来的にダチアおよびルノーとの提携関係を強化し、他のモデルにも導入していきたい」と述べた。

<AI22362>

エレクトロビットの「EB corbos Hypervisor」、ASIL-B準拠の認証取得

独コンチネンタル子会社で車載組込ソフトウェアを開発するエレクトロビット（EB）は10月31日、車載システムの仮想化ソリューション「EB corbos Hypervisor」が独技術監査機関テュフ・ブードの認証を受けたと発表した。設計概念であるSEooC（Safety Element out of Context）が自動車機能安全規格「ISO26262」で定義されたリスクレベル「ASIL-B」に準拠していると評価された。同社ではこれによりソフトウェア定義車両（SDV）におけるオープンソースのオペレーティングシステム（OS）の導入が進むとみる。

EB corbos HypervisorはオープンソースOS「Linux」をベースとする車載システム向けOS「EB corbos Linux for Safety Applications」の核となるもので、同OSの安全監視モジュールを制御する。独ソフトウェア企業ケルンコンツェプト（Kernkonzept）のマイクロカーネルOS「L4Re」を技術基盤としている。マイクロカーネルとはOSの中核であるカーネルの機能を最小限に抑える設計手法。カーネル内の動作量が少ないためバグや脆弱性の発生リスクが少なく、信頼性とセキュリティが高くなる。

<AI22363>

情報の少ない中東欧やロシア
CIS、トルコの経済動向を
お伝えしています

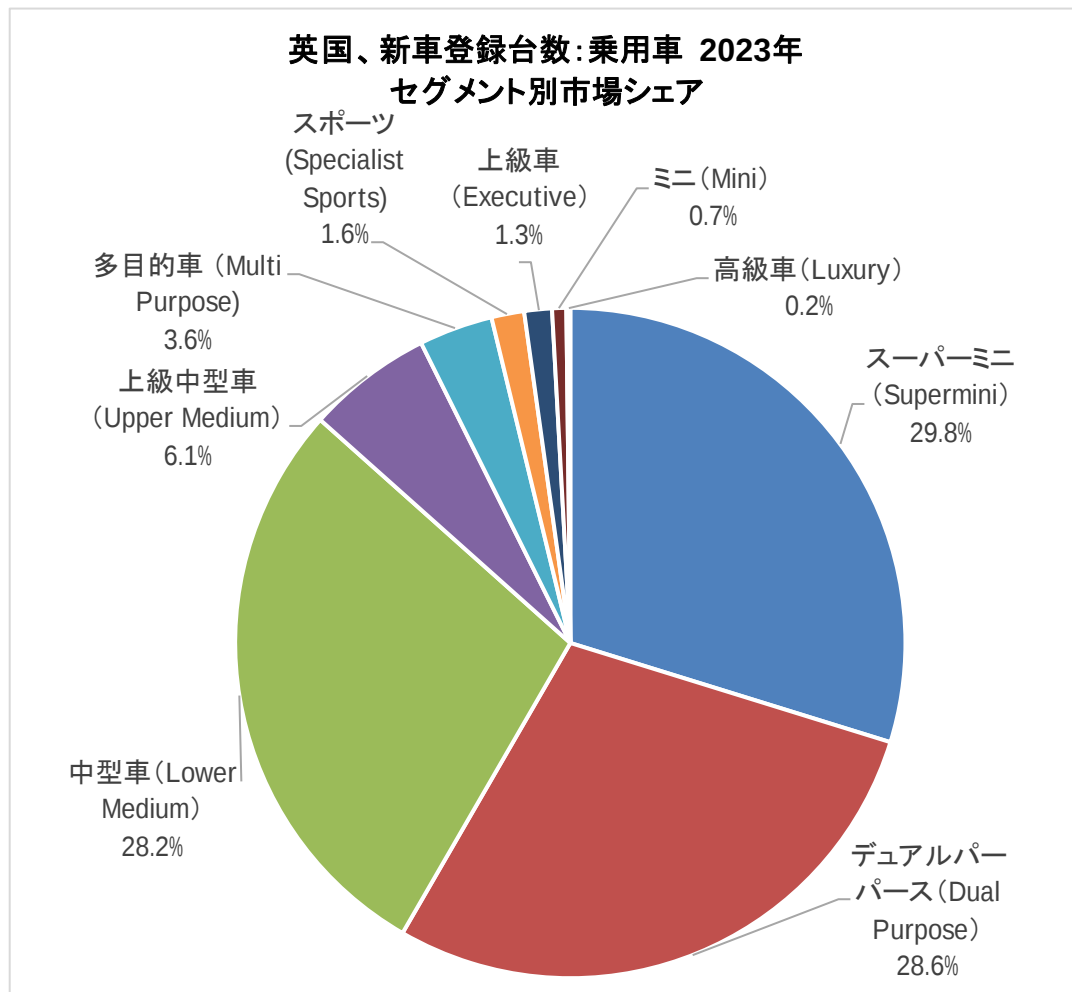


東欧経済ニュースを読んで
情報を集めよう



目で見る欧州自動車産業ニュース

英国、新車登録台数:乗用車・セグメント別 2023年



出所: 英自動車工業会のデータを基に作成

英国、新車登録台数：乗用車・セグメント別、TOP5（2023年）

ミニ (Mini)		
モデル	登録台数	セグメントシェア
現代自動車「i10」	10,047	77.2%
フォルクスワーゲン「アップ(up!)」	2,618	20.1%
スマート「EQ フォーツー・クーペ」	282	2.2%
スマート「EQ フォーツー・カブリオレ」	65	0.5%
スマート「EQ フォーフォー」	／	0.5%
セグメント合計	13,012	

スーパーミニ (Supermini)		
モデル	登録台数	セグメントシェア
フォード「プーマ」	49,591	8.7%
ボックスホール「コルサ」	40,816	7.2%
MINI	33,385	5.9%
日産「ジューク」	31,745	5.6%
フォード「フィエスタ」	26,248	4.6%
セグメント合計	566,781	

中型車 (Lower Medium)		
モデル	登録台数	セグメントシェア
日産「キャシユカイ」	43,321	8.1%
アウディ「A3」	30,159	5.6%
ボックスホール「モッカ」	29,984	5.6%
フォルクスワーゲン「ゴルフ」	28,545	5.3%
MG「HS」	27,873	5.2%
セグメント合計	537,570	

上級中型車 (Upper Medium)		
モデル	登録台数	セグメントシェア
テスラ「モデル3」	13,536	11.7%
BMW「3シリーズ」	13,496	11.7%
ポールスター「2」	12,542	10.9%
シュコダ「オクタビア」	10,673	9.3%
BMW「i4」	8,940	7.8%
セグメント合計	115,277	

上級車 (Executive)		
モデル	登録台数	セグメントシェア
メルセデス・ベンツ「Cクラス」	5,509	21.7%
アウディ「A6」	4,956	19.5%
BMW「5シリーズ」	4,407	17.4%
メルセデス・ベンツ「Eクラス」	2,455	9.7%
メルセデス・ベンツ「EQS」	2,054	8.1%
セグメント合計	25,387	

高級車 (Luxury)		
モデル	登録台数	セグメントシェア
メルセデス・ベンツ「EQS」	29	18.5%
メルセデス・ベンツ「Sクラス」	59	17.1%
BMW「i7」	33	13.6%
ベントレー「コンチネンタル」	19	12.3%
アウディ「A8」	26	12.1%
セグメント合計	3,605	

スポーツ (Specialist Sports)		
モデル	登録台数	セグメントシェア
ポルシェ「タイカン」	1,003	26.2%
ポルシェ「911」	486	14.9%
アウディ「TT」	163	9.4%
アウディ「Eトロン GT」	305	8.0%
ポルシェ「718」	218	6.1%
セグメント合計	30,010	

デュアルパーパス (Dual Purpose)		
モデル	登録台数	セグメントシェア
起亜「スポーテージ」	36,135	6.6%
現代「ツーソン」	34,469	6.3%
フォード「クーガ」	29,568	5.4%
ボルボ「XC40」	26,287	4.8%
フォルクスワーゲン「ティグアン」	25,049	4.6%
セグメント合計	543,610	

多目的車 (Multi Purpose)		
モデル	登録台数	セグメントシェア
テスラ「モデル Y」	35,899	52.9%
ダチア「ジョガー」	5,807	8.6%
フォード「トルネオ・コネクト」	3,818	5.6%
プジョー「リフター」	2,446	3.6%
フォード「トルネオ・カスタム」	2,110	3.1%
セグメント合計	67,802	

出所: 英自動車工業会

<AI22364>